

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2017～2018主題】

国際会長 ヘンリー・J・グリーンハイム 「Let us all Walk in the Light-Together」
 アジア地域会長 Tung Ming Hsiao 「Respect Y's Movement」
 東日本区理事 栗本 治郎 「広げよう ワイズの仲間」
 あずさ部長 大野 貞次 「継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう」
 東京武蔵野多摩会長 板村 哲也 「変化」

【クラブ役員】

会長 板村哲也
 副会長 大輪匡史
 宮内友弥
 会計 山口直樹
 書記 麻生由美子

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club(韓国)

D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2018年
3月の聖句

悪魔のねたみによって死がこの世に入り、悪魔の仲間属する者が死を味わうのである。
(知恵の書2:24)

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利を伴う

五つの誓い

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する
- 2.ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
- 3.地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
- 4.宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
- 5.健全な交友関係を作り出す
- 6.この協会の国際・地域・区の事業に支援する。

3月例会プログラム

- 強調月間：BF
 日時：3月14日(水) 19:00～21:00
 場所：東京YMCA西東京コミュニティセンター
 司会：鈴木 受付：大輪、山口
 ドライバー：野尻
 *開会点鐘(会長)
 *ワイズソング
 *ゲスト・ビジター紹介(会長)
 *夕食
 *卓話 所沢クラブ 東さん
 「子どもの居場所」
 *ハッピー・バースデー
 *YMCA報告
 *にこにこ
 *閉会点鐘(会長)
 *今月のハッピーバースデー
 1983年3月6日：クラブチャーター
 26日：麻生 由美子さん
 28日：山口 直樹さん

2月例会報告

在籍者	13名
出席者	11名
メーキャップ	0名
出席率	85%
ゲスト	12名
ビジター	6名
ネット・コメット	0名
にこにこ	8,456円

テーマ：子どもの居場所

<卓話者紹介>

卓話者：東 裕二氏
 所沢ワイズメンズクラブ、15年10月入会。
 higa-design建築設計事務所代表。
 「夢はうす」を運営。寺子屋「夢はうす」は、狭山市内の企業、団体様のご協力により、ビリヤード、書道、料理などなど日替わりで様々なカリキュラムを子どもたちに体験させる「体験型教室」です。



光陰矢のごとし

伊佐 節子

2月は逃げる。3月は去るとのことわざの通り、年月の過ぎる速さに驚き、がっくりの今日この頃である。始まったばかりと思った冬季オリンピックが、もうフィナーレを迎え、予想より多くの金メダルを獲得した日本の選手に拍手を送り、テレビにかじり付いているうちに閉幕。ワイズ活動の年度の締めくくり「第21回東日本区大会」の案内を見て、年度の速さを思う。

次の年度を受け持つ、我がクラブ輩出の宮内友弥理事のご苦勞を思い、クラブ丸となって支えられるか心配ではある。なるようにしかならないと腹をくくっているものの不安の種は尽きない。ワイズ人口が減少し、高齢化して活動が鈍くなりつつあると思われる今日、日本区大会のあり方も従来通りの運営が維持できない場合があると考えられる。その時に叶ったシンプルな大会もありではないか？

何よりも参加しやすく、楽しい大会を目指したいが、宮内理事の下、そんな簡単に達成できるとは考えにくい・・・。
 応援クラブのもと、クラブメンバーが一致協力して、頑張ることが大切である。そして、ワイズ仲間の暖かい支援が大会の成功を導くことになります。

第22回東日本区大会は2019年6月1、2日です。

ファイト！ ファイト！ ファイト！

2月例会報告

日時 2月14日(水) 19時～

会場 東京YMCA西東京コミュニティーセンター

司会：渡辺 受付：伊佐、野尻 ドライバー：野尻

メンバー：11名、ビジター：6名(東京八王子3名、富士五湖3名)、ゲスト：12名(内リーダー3名)

2月例会は、「伝えたい、脳卒中とその後遺症」—当事者になった脳卒中リハビリ専門家の物語—と題し、全国でも様々な活動を行っておられる関啓子さんに来ていただいた。

関さんは言語聴覚士(ST)として、特に失語症の専門家として活躍されていた方。その関さんご自身が脳卒中を起こされ当事者になってしまった状態を、当事者として、また専門家としての両方の視点から見られた経験のお話であった。

まず脳卒中入門として脳梗塞と脳出血がある事、大脳の部位がどのような機能をつかさどっているか、また、後遺症について伺った。脳卒中のチェック法、予防

についても伺った。高血圧・肥満・飲酒・喫煙・食事・ストレスなど危険因子を減らしていくことが重要とのこと。私を含め、耳の痛い参加者も多かった。そして、早期発見、早期対応、早期からのリハビリがその後の回復や生活改善に大変大切であることも改めて実感した。

続いて、ご自身の実際の状況と、変化の過程を詳しく語っていただいた。聞こえているのに反応ができないもどかしさ、その中でも感じた安らぎの気持ち、当事者でなければ感じられない心の動きなど、話の中からひしひしと伝わってきた。

また、リハビリや関さん自身の様々な行動の工夫も含め、症状が改善していく過程も具体的にお話を聞き、早期のリハビリ、自分で良くなっていくとの意欲、日々の生活の中での工夫の重要性を認識できた。最後に、いただいた資料の中で重要なものを転記する。

まとめ

①脳卒中は身近な誰もがなり得る病気である。②後遺症は身体機能低下とともに、高次脳(認知)機能障害である。③高次脳機能障害は外見からわかりにくい「見えない障害」である。④高次脳機能障害者数は全国で50万人と非常に多い。⑤認知度が低く、当事者は就労・復学できず生きづらい。

リハビリ中気を付けていたこととして

①今の自分の状態を発症前の自分と比較しない。②焦らない、悔しがらない、あきらめない。③不便を受け入れ、工夫をたのしむ。④失敗した理由を考え、次に生かす。⑤動作を鏡などで客観的にチェックする。⑥運動を事前にイメージする。⑦育児のようにおおらかな気持ちで臨む。⑧回復を信じ、役立ちそうなあらゆる手段を講じる。

関さんを支え、リハビリを促進したものとして

①聖書の言葉「神様は試練とともにそれに耐えられるよう、逃げ道をも備えていてくださいます」②ご家族の励まし③着実な回復への確信、を挙げていただいた。

自分に起こった大変な状況も前向きにとらえ、前に歩んでいる関さんの人柄と生き方からも、多くの学びがあった例会であった。

また、わがクラブ恒例の2次会にご夫妻で最後までお付き合いいただき、より深くお二人に親近感をいただいた。これからも関わりを持たせていただきたいとの気持ちを参加メンバーが皆持ったと思う。

(記録：山口 直樹)



2017-2018年度、第2回あずさ部かいじ評議会
 日時：2018年2月10日（土）13:00～16:00
 場所：山梨県立図書館2階多目的ホール
 ホストクラブ：甲府21クラブ
 評議会構成員数：52
 出席者：46名。
 当クラブよりの出席者：板村、宮内、山口、渡辺（4名）

議事

＜決議事項＞

下記4件の議案が審議の後承認可決された。
 1号議案：2018-2019年度 部役員承認の件
 2号議案：2018-2019年度 次期部長(2019年度)推薦の件
 3号議案：2018-2019年度 部選出代議員推薦の件
 4号議案：2017-2018年度 CS助成金配分の件(注)
 (注)配分についての執行部案の一部に異議が出され、修正の上承認可決された。当部への助成金の配分は申請通り承認された。

＜報告事項＞

大野部長より部長活動報告および第2回東日本区役員会の報告が行われた。続いて鳥越会計担当より部会計の中間報告が行われたが、収支表に記載の金額の計算が合わないとの指摘がなされ、確認願うこととなった。なお、各事業主査（四役）および会長(11クラブ)の活動報告は時間の関係で割愛となった。休憩後出席者が10グループに分かれ、懇談と会員増強に関するディスカッションを行った。

評議会終了後、後徒歩7分のところにあるSADOYAワイナリーに移動。萩原健一顧問のガイドにより地下にある様々な設備を見学した。ワインの作り方、昔使用していた機械、コルクが出来るまで、樽熟庫・一升瓶熟庫などを勉強。最後に3種のワインでテスティングを行った。最後は甲府駅近くのレストランで懇親会が催され、当クラブメンバーは全員参加した。甲府21クラブの力の入った盛り沢山の内容の1日であった。

お世話になりました皆様、有難うございました。

(板村哲也)



RDEトレーニング/MYM報告

宮内友弥

昨年末ソウルで開催されたRDEトレーニング(次期理事研修会)及びMYM(地域年央会議)に出席しました。些か旧聞の感を免れませんが、RDEトレーニングに出席されたIPE(次期国際会長)Mr.Moon Sang-bong(韓国)の施政方針説明を中心に来期に思いを馳せながら報告します。

RDEトレーニングには、国際からIPE,田中APE,西村ISG他が出席、RDEは7つある区の内参加者は東日本区、西日本区、台湾、スリランカの4名でした。

研修会冒頭に“IPE Goals,Dreams,Priorities”と題してMoonさんから話がありました。主題：“Yes We can change”「私たちは変えられる」スローガン：“Courage to Challenge”「挑戦への勇気」を掲げ、問題点として組織の非効率性（多くの部門で任命された多くの人がいるが、実際ほとんど活動してない。）等を挙げ又変化は選択ではなく必須、現代に相応しい変化、実践がない目標はフィクションであると訴えました。任期中の会員数は5%増を目指しています（全体で5%を達成するためには力のあるインド、韓国、アジアには10%増を求める）。彼の任期中の優先順位として以下を挙げています。

1. 青少年の育成
2. 医療サービスの強化
3. YMCAとの国際的連携の強化
4. 宗教を超越したサービス、アイデンティティを強化しながらさまざまな宗教を持っている団体と一緒に奉仕活動をする。
5. グローバルプログラム

最後にAPE,RDEsの主題をご紹介します。興味深いのは、多くがchange或いはchallengeを掲げ共通の問題意識を持っていることです。

AP “Action!”

東日本区 “No challenge, No fruit”

西日本区“Let’s Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future”.

フィリピン区 “Yes We can change”

東南アジア区 “everyone can change, a challenge in our time”

スリランカ区 “True spirit of caring”

台湾区 “Facing your Challenge, Enjoying the Result”

5部合同EMCシンポジウムに参加して

2月18日、5部合同EMCシンポジウムを東京YMCA山手センターで開催し、67名のワイズメンが参加しました。プログラムは、東京クラブの長澤様から開会の挨拶から始まりワイズメンズクラブ会員増強の展望について東新部長伊藤様からのお話があり、[みつかる つながる よくなっていく]の説明を副総主事星野様から頂きました。休憩後、パネリストによる発題とディスカッションに移りました。



所沢クラブ澁谷様は、澁谷様が牧師様ですので、YMCAのCとワイズの関わりと距離感について、話して頂きました。東京多摩みなみクラブの石田様からは、書面にて、ワイズの問題点、現状を分析して判りやすく説明していただきました。東京武蔵野多摩クラブの大輪は、ワイズの現場の問題点や、ワイズメンとYMCAの格差

社会への認識について、話しました。横浜クラブの古賀さまは、お生まれになった 長崎の被爆の悲しい歴史の体験からYMCAに関わり 平和な未来を創りたいとの 大切な お話がありました。横浜とつかクラブの加藤様から、ワイズの法人化、NPO法人について、過去に検討した お話し、東京多摩みなみの深尾様から、キリスト教とYMCAとの関わりの問題点、疑問点が討論されました。最後に まとめとEMCの決意表明が、伊藤部長から ありました。決意表明によって今年度のEMCは終わりましたが、伊藤部長、これからが始まりなのでは？皆さんが 問題点を提案して います 部長この指止まれで 手を挙げてください皆さんで 集まり、自由に討論する場を作ってください。ワイズの現場の声から、ワイズのリセットしませんか？もちろん、私も参加させていただきます。

(大輪 匡史)

<西東京YMCA便り>

出沼一弥

▼2月のプログラム報告

2/3-4	障がい児・者リーダートレーニング	スノーパーク尾瀬戸倉	ホテル玉城屋	11名
2/9-11	チャレンジスキーキャンプ	スノーパーク尾瀬戸倉	ホテル玉城屋	24名
2/17-18	Smile 2月例会 (1泊会)	東京YMCA妙高高原ロッジ		5名
2/18	「シャベルズ・いずみの会」 2月例会	高尾の森わくわくビレッジ		15名
2/25	「にこにこ」 2月例会	武蔵国分寺公園		7名
	「ロビンソン」 2月例会	府中の森公園		17名
	「あおぞら・つばさの会」 2月例会	クッキング (子安市民センター)		16名

▼3月の主な予定

3/4	発達障がい児野外活動Smile	3月例会		
3/9-11	スノーマンキャンプ			
3/21	中高生グループ活動「Teen S」	3月例会		
3/23-25	わんぱくキッズ	対象年少～小学2年生		
3/26-30	シーハイルキャンプ	対象：小学生～高校生	引率：廣瀬	
	オール東京ユーススキーキャンプ	対象：中学生・高校生	引率：出沼	
	中高生グループ活動「Teen S」	1月例会		

▼「私とY's」

押山愛紀子 (セサミ) 西東京コミュニティーセンタースタッフ

主な仕事：ロビンソンアシスタントディレクター、さくら国立指導員

キャンプネームの由来：チョコチップクッキーが大好きなセサミストリーのクッキーモンスターから

西東京センターに来て、早いもので一年が経とうとしています。右も左も分からなかった4月、お会いすると温かく声をかけてくださるY'sの皆さんにYMCAのこと、Y'sのこと、西東京センターのこと、多くを教えていただきました。小さなセンターだからこそ皆さんとの距離が近く、「元気になっている？」の一言がとても嬉しいです。ぺたぺたの会や卓話、懇親会、西フェスなどでご一緒させていただく度に、いつも支えてくださるY'sの力強さを感じます。時に真剣に、時に陽気に、飾らずお話ししてくださる皆さんの姿が印象的です。皆さんの熱い想い、鋭い眼差しに触れ、これからも皆さんのご期待に添えるよう一層邁進いたします。何とぞお見守りくださいませ。

今後の予定

3月		4月	
•3、4日	次期会長研修会 (東山荘)	•7、8日	国立さくらフェスティバル
•10日 (土)	東京八王子チャリティーコンサート	•11日 (水)	第一例会
•14日 (水)	第一例会	•25日 (水)	第二例会
•28日 (水)	第二例会	5月	
		•12日 (土)	あずさ部評議会 (富士五湖)
		6月	
		•2、3日	東日本区大会 (沼津)